



2018年
秋号 WEB版

発行所
カトリック高幡教会
あゆみ編集委員会
TEL042(592)2463
FAX042(592)2464

神のものは神に、 皇帝のものは皇帝に、

主任司祭 ロールド・ザビエル

信者の皆さんは受洗された時からキリストの体である教会に結ばれています。その体を養成していくのは大事な使命です。聖霊の賜物によって強められ、社会の挑戦があってもキリスト信者はずっと以前からキリストの福音を証してきました。それは、聖書に書かれていた神の掟、特に十戒やそのまゝとめであるイエスの愛の掟つまり、神を愛することと隣人を自分のように愛することであ

り、豊かな実りを結んでいきます。キリスト信者は神の掟を守りながら、教会の伝承から得た五つのおきても守ることによって、聖性的に成長できるとは思います。

教会の第一のおきては、「主日と守るべき祭日にミサにあずかり、肉体的労働を休むこと」です。主日は主の復活を記念する日であり、共同体と一緒に信仰と愛をこめて、命の与え主である神に賛美を捧げる日です。私たちキリスト信者が共同体として、主日に教会に集い、ミサに参加することによって、これらの日を聖とすることです。

教会の第二のおきては、「少なくとも一年に一度は罪を告白すること」です。「ゆるしの秘跡」は、その恵みとして信者をエウカリスチアへの準備をさせてくれるものです。日常生活も赦し合うことで幸せになるから

です。教会の第三のおきては、「少なくとも復活節の間にエウカリスチア（聖体）の秘跡を受けること」です。キリスト教信仰の起源であり、中心で

ある復活節の間に、拝領することは、非常に意味深いことです。

教会の第四のおきては、「教会が定めた、大斎・小斎の日を守ること」です。大斎は、灰の水曜日と聖金曜日にイエス・キリストの受難を思い、感謝と礼拝の心で、犠牲をささげるのです。小斎は、肉食をさけることです。犠牲することは余ったものからではなく、愛の業や、節制などによっても替えることができるものです。このおきてを守ることによって、自制心を養い、心の自由を得ることができるとは思います。

教会の第五のおきては、「教会の維持費を負担すること」です。教会の維持費とは、教会の建物の維持管理、司祭の養成と扶助、その他、教会が行う宣教活動の諸費用にあてられるものです。信者にはおのおのの分に

応じて教会の財政を助ける義務があるということが述べられています。最低限守らなければならない「教会の五つのおきて」は、論理的な努力もせず、教会の秘跡的生活の実際に参加することもなく、教会と連帯した結びつきを持たないキリスト者はいないことを思い出させてくれるものです。ですから、教会のおきてはカトリック信者の義務なんです。

(カトリック教会のカテキスム

§2040~43 参照)

信徒会だより

信徒会委員長

今年の委員会も来年の信徒総会へ向けての準備を始める時期になりました。八月のあゆみ、夏キャンプ号以降についての活動を報告いたします。

●九月八日 テゼの祈りの集い

六月より高幡教会、府中教会、聖公会聖マルコ教会(分倍河原)の三教会持ち回りで行うことになり、二か月に一度、高幡教会では青年たち、中学生を中心に、進めています。静かな祈りの時間を、ともに過ごしませんか。次回は、十二月八日(土)十八時半です。

●九月九日 敬老のミサ、ミサ後お祝い会

ごミサには三十六名の方々の出席を頂



ザビエル神父様から病者の塗油を受ける

き、お祝い会では教会学校の子供たちと皆さんで菊地大司教様作詞作曲の「主と共に」を歌い、Aさん、Bさん、Cさんのアコーディオン、そして、今年はDさんのハーモニカ演奏と和やかな心温まる感謝の集いとなりました。

●九月十七日 下瀬智久神学生終生誓願式

高幡教会から約三十名の方々が初台教会での十一時の終生誓願式に参列し、その後パーティーに参加しました。下瀬神学生の今後の司祭叙階、修道生活のためにお祈りいたします。



一生の間、神にすべてを捧げることを誓願する下瀬神学生の「終生誓願式」

●十月八日 永山教会、バザー

姉妹教会として交流している永山教会のバザーに今年も高幡教会からミカエルショップが出店。由木教会も出店しており、三教会の交流が一月の交流会だけでなく、さつき祭、バザーと繋がりが太くなっていることを実感しました。

●十月二十一日 秋まつり

今年は、秋晴れの中、例年の出店(コーヒー・カレー・おでん・さんま・炊き込みご飯・ホーリーグッズ・手作り品・フリマ等)を囲み、前庭での楽しいひと時を過ごしました。献金は五レベーター献金と被災地献金に振り当てました。皆様のご協力に感謝いたします。



上: 美味しいおでんですよ
下: 最後にテゼの歌で終わりました



上: 秋まつりテントの花が前庭に
下: 今年も高幡特製カレーです

●報告事項

○朗読奉仕グループの発足

九月に二回の集まりがありました。発足した経緯のひとつに、地区委員による主日の朗読者決めが大変なので、少しでも軽減すべきではないかということがありました。主日の朗読全てをグループに移行しなくても私共思うのですが、皆さんはどうお考えですか。十一月の拡大委員会で集約をと考えておりますので、地区委員の方にご意見をお伝えください。

○エレベーターピット内の不具合

六月の初めてのエレベーターの保守点検でピット内に水が溜まっていました。その後九月の第二回目の保守点検までの三カ月で十二ミリの水が溜まっていました。エレベーター建設に携わったEさんを中心に施工会社とその水が漏水なのか、結露によるものなのか、現在調査を行っています。

○AEDの講習会

十一月十八日九時三十分〜一回の大掃除の日

○高幡教会ホームページがタイムリーに更新

「あゆみ」も前号からH・Pで見られるようになりました。

<http://www.cctakahata.jp/>をご覧ください。

多摩ニュータウン地区の家庭集会

教会家族を感じた家庭集会

十月八日体育の日、多摩ニュータウン地区のFさんのご自宅にザビエル神父様をお招きし、信徒八名が出席して、多摩ニュータウン地区家庭集会が開かれました。

当日は、神父様をご用意下さったプリントに沿って、「ガリラヤの風かおる丘で」を皆で歌った後、詩編を唱和し、福音朗読に耳を傾け、結びの祈願を唱えました。その後、福音朗読箇所(ルカ一〇:三八〜四二)について、皆で思いや考えを分かち合いました。この箇所では、主の話に聞き入ってもてなしの手伝いをしないマリヤに対して心を乱したマルタに、主が「必要なことはただ一つだけ」「マリヤは良い方を選んだ」とお答えになります。聖ベネディクトの「祈り働く」という言葉を引用されて、神父様からの「私達高幡は得て働くだけにな



て働くだけにな

つてしまい、祈りを忘れていないだろうか」というお話が印象に残りました。久しぶりの家庭集会でしたが、皆で心を開いて語り合い、私達が教会家族であることを感じる集いになりました。また、開催に当たって、教会になかなか来られない方々にお電話し、近況を伺えたことも大きな収穫でした。



ケベック外国宣教会来日七十周年

記念ミサに与る

秋晴れの十月七日、カトリック高幡教会の礎を築き、信徒を導いてくださった初代主任司祭ロゼール神父様と助任司祭六名を派遣して下さったケベック外国宣教会の来日七十周年記念ミサ・祝賀会が、カトリック赤堤教会で行われました。高幡教会から十数名が感謝とお祝を一緒にする恵みに与りました。

菊地功大司教司式のミサは、入祭のあいさつに続き、ケベック会員の自己紹介。子供達の歌、大司教様への子供達からの質問がありました。霊名タルチシオについて大司教様は分かりやすく説明され、侍者の守護聖人である事を侍者の少年にお答えにられました。杖の意味、ミトラの意味、三つの質問が終る頃、聖堂は厳粛な中にも和やかな雰囲気包まれ式次第はすすみました。

カテドラルこどもミサ用に
教会学校のみinnで作った
ダンボールの高幡教会



戦後間もない青森の困難な厳しい現実の中での福音宣教。赤堤教会創立当時のエピソードを管区長からお聞きしました。七十年間で六十六名の会員が派遣され、現在は司祭四名、終身助祭一名、信徒宣教者五名が赤堤・山谷・仙台教区で司牧・宣教されています。

祝賀会は教会内と庭で行われ、笑顔と会話の花がいくつも咲き、大司教様も気さくに輪に入られ、あたたかな親睦の場となりました。そうして、ロゼワール神父様、ガブリ神父様、エメ神父様、ジャック神父様、エデメ神父様、ジャンさんとの懐かしい再会という喜びもありました。

七十年間、日本の信徒の為、福音を知らない人々の為に平らでない道を歩き、種を蒔き続けられるケベック外国宣教会の一人おひとりに心からの感謝とお祈りを捧げます。これからも「希望の道」を共に歩めますように。

◆高幡教会のミサ時間◆

日曜日＝午前9時・11時

平日＝火曜日17:30

金曜日10:00

初土＝月の初めの土曜日11:00

メルセス＝火曜日、木曜日7:00

◆ザビエル神父様ご指導の講座◆

★聖書を読む会★

毎週金曜日ミサ後

★カトリック入門講座★

土曜日＝17:30～18:30

※他の曜日等の希望がある場合は

神父様と個別に相談して下さい

★教会行事(11月4日～12月25日)

- 11月4日 年間第31主日
死者の追悼(11:00ミサ)
- 11月11日 年間第32主日
七五三のお祝い(11:00ミサ)
信徒委員会(12:30)
- 11月18日 年間第33主日
大掃除(9:00ミサ1回)
- 11月25日 王であるキリスト
拡大委員会(12:30)
- 12月2日 待降節第1主日
黙想会・ゆるしの秘跡
(9:00ミサ1回)
- 12月9日 待降節第2主日
信徒委員会(12:30)
- 12月16日 待降節第3主日
- 12月23日 待降節第4主日
- 12月24日 主の降誕 夜半のミサ 18:00
ミサ後祝賀会
- 12月25日 主の降誕 ミサ 10:00

<編集後記>

ケベック外国宣教会の来日七十周年記念ミサに与り、菊地大司教様を始め、宣教会の司祭・修道者・信徒宣教者に会えて宣教(ミッション)について黙想する恵みの時間を過ごしました。日頃、聖書を読み、神様の愛を証し、伝える道を歩みたいです。どこに居ても感謝の十字架を切る、誰にも愛を施すキリスト者の姿を見ることが宣教の第一歩だと思います。